



関中学校だより

第6号 平成31年2月5日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-tyky.ed.jp/>

節分・立春

校長 勝亦章行

2月4日は、立春でした。立春は、冬が終わり春が始まる節目の日です。しかし、春はまだまだ遠く、これからも寒い日があるでしょう。三寒四温という言葉の通り、少しずつ温かくなっていくでしょう。

調べてみると、旧暦の頃は、立春の日が一年の始まりと考えられていたようです。そういうわけで、立春の前日である「節分」の日に豆まきをして邪気を払い福を招き、無病息災を願ったのです。

ところで、「節分」は、各季節の移り変わりの前の日のことで「季節を分ける」という意味を持っています。立春・立夏・立秋・立冬と一年に4回あります。その前日が「節分」になるので、節分も一年に4回あります。しかし、年を重ねていくうちに、だんだんと立春の前の日の「節分」だけが残っていったようです。

邪気(悪いこと)を払う豆まきには「大豆」が使われています。これも調べてみると、古来より「五穀」と呼ばれる米・麦・粟(あわ)・稗(ひえ)・豆(大豆)の作物をととても大切にしていました。収穫期の秋には、「五穀豊穰」を祈る行事にも必ず備えられているものです。それだけのパワーを秘めたものなら、鬼(邪気)を退治できるだろうというところからきているようです。また「豆(まめ)」を「魔目(まめ)」もしくは「魔滅(まめ)」と呼ばれているという説もあるとのことでした。

日本の伝統行事も、それぞれ意味があります。ところで、節分の豆まきは、今ではあまり行われることが、少なくなったように思います。少し残念な気持ちです。

さて、我が家では、2月3日の節分に豆まきを行いました。私が家族を代表して、「鬼は外 鬼は外。福は内 福は内」と言って、豆をまきました。そして、鯛(いわし)を食べました。2月1日(金)の給食でも、鯛(いわし)の丸干しが出ました。我が家では、玄関に、棘(とげ)の痛いヒイラギの葉に鬼が嫌いな臭いがする鯛(いわし)の頭を刺したものをくくりつけました。我が家では、毎年やっている年中行事でもあります。

インフルエンザ「流行警報 発令中！」

全国的にインフルエンザが流行しており、流行警報が発令中です。

昨年は、A型とB型が混在して流行しましたが、今年は、二種類のA型が流行しているとのことです。関中学校では、2年スキー教室が、2月10日～13日に実施。3年生は、2月10日から私立高校一般受験がスタートし、2月22日は、都立高校受験日です。こまめな手洗い、うがいの励行とマスクの着用で、感染防止に努めて下さい。

インフルエンザは、学校感染症の一つで出席停止扱いになります。欠席にはなりません。保護者の皆さまへ、お父さんが体調が悪い場合は、無理をさせず休ませて下さい。登校届は、関中HPよりダウンロードできます。



1月・2月 行事予定

日	曜	予定
8	火	3学期始業式
12	土	2年スキー教室保護者説明会、区生徒作品展始
14	月	成人の日(休日)
16	水	指導課訪問、区生徒作品展終
21	月	生徒会朝礼
26	土	都立校推薦入試、区書初展始
27	日	都立校推薦入試、区書初展終
29	火	連合ダンス発表会(1C出場)
2月		
1	金	ふれあい月間、都立推薦合格発表日、小中一貫フォーラム
4	月	朝礼、新入生保護者説明会、学習発表会実行委員会
5	火	心の相談員来校、中央委員会
6	水	3年都立高出願、区中研発表会、SC来校
7	木	3年都立校出願
8	金	心の相談員来校
9	土	第二土曜授業、2年振替休日、PTA本部運営委員会
10	日	2年スキー教室、3年私立校入試
11	月	建国記念の日(休日)、2年スキー教室、3年私立校入試
12	火	2年スキー教室、3年私立校入試、心の相談員来校
13	水	2年スキー教室、SC来校
14	木	2年代休
15	金	避難訓練、心の相談員来校
18	月	生徒会朝礼、SC来校
19	火	心の相談員来校
22	金	3年都立校入学学力検査日、心の相談員来校
23	土	新入生標準服採寸
25	月	期末考査(国数体)
26	火	期末考査(社理英)

校内書き初め展

冬休みの宿題でもあった書き初めですが、生徒の作品を各教室に掲示しました。そして、国語科の先生が審査し、「金」、「銀」、「銅」を決めました。

各学年の書き初めの課題は、次の通りです。

1年	青雲大志	理想の人
2年	新春の夢	調和の美
3年	夢抱く早春	輝く前途



各教室に展示された書き初め（写真は3年）

第66回 練馬区小中学校連合書きぞめ展（1月26日～27日）



平成31年1月26日～27日の2日間、練馬区立美術館で第66回練馬区小中学校連合書きぞめ展が催されました。関中学校からは、12人の生徒の書き初めが展示されました。



書きぞめ展は、小学校、中学校の全校の書きぞめが出品された



関中の作品

練馬区教育委員会 児童・生徒表彰式（平成31年1月21日）

練馬区教育委員会では、さまざまな活動の場において、一生懸命努力している子どもたちを応援するため、児童・生徒表彰を行っています。

今年度は、スポーツ・文化芸術などで活躍した個人（213人）団体（11組）が表彰されました。

関中学校では、個人（9人）団体（1組）が表彰を受けました。

個人	学年	氏名	表彰理由
の部	1年	佐藤	水泳で優秀な成績
	2年	浦井	剣道で優秀な成績
	3年	廣澤	剣道で優秀な成績
	3年	加藤	硬式野球で優秀な成績
団体の部		剣道部	優秀な成績

* 昨年度までは、練馬区教育委員会が児童・生徒表彰式を行っていましたが、今年度より、区教委主催の表彰式はなくなり、各学校で表彰式が行われました。

関中学校では生徒会朝礼後、表彰状を校長から授与しました。

表彰基準（抜粋）

- 善行ならびに人命救助を行ったとき
- 福祉活動・地域活動等を継続的に行っている。
- 各種大会（運動競技大会、文化・芸術コンクール等）において優秀な成績を収めた個人・団体
 - 東京都大会で3位以内
 - 関東大会・東日本大会で4位以内
 - 全国大会で8位以内
 - 日本代表として世界大会に出場 以外に、優れた活動と認められたもの。

加藤くんは、東京都教育委員会児童生徒表彰も受賞しています。

練馬区中学校生徒作品展（1月12日～16日）



生徒作品展会場の様子（練馬区立美術館）

練馬区内中学校の美術科の作品、技術・家庭科の作品、特別支援学級の作品を集め、練馬区立美術館を会場に、生徒作品展が、平成31年1月12日（土）～16日（水）の4日間（美術館休館日を除く）開催されました。

各教科の先生の指導のもとに、中学生の豊かな創造力と感性から生み出された作品が展示されました。関中学校からも、力作が多く展示されました。



美術科（自画像・修学旅行色紙）



家庭科（トートバック・布絵本等）



美術科（アートクロック）



技術科（キーホルダー）

我が国固有の文化を教えています。

音楽科「箏の授業」、保健体育科「剣道の授業」

音楽科では、箏（そう）、三味線、尺八、篠笛、太鼓、雅楽で用いられる楽器などの和楽器については、中学校第1学年から第3学年までの間に1種類以上の和楽器を扱い、表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わうことができるようにすることが求められています。生徒が実際に演奏する活動を通して、音色や響き、奏法の特徴、表現力の豊かさや繊細さなどを感じ取ることは、我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことにつながっていきます。授業では、箏（そう）による授業が行われました。この箏は、練馬区教育委員会に寄贈されたもので、それを区中研音楽部が管理し、各学校で使われています。また、今回の授業では、練馬区学校地域連携事業の一環として地元の方で琴を演奏できる方をお願いし、授業の補助をしていただきました。ありがとうございました。

保健体育科では、「武道」を授業の中で取り組まなければならないことになっています。ここでいう武道とは、剣道、柔道、相撲です。この中から選ぶことになっています。関中学校では、剣道を選んでいます。

2年生は、男女別に4時間の剣道の授業を行いました。練馬区剣道連盟の先生が指導してくれました。寒い日が続いていますが、生徒たちは素足で、気合いを入れて授業を受けました。本校には剣道部があるので、剣道部は防具を着けて参加。剣道連盟の先生の指導の手伝いも行いました。

「武道」は、我が国固有のものでもあり、単なる技の習得でなく、心の鍛錬という要素があります。「心技一体」「礼に始まり 礼で終わる」という言葉もあります。授業では、基本動作、礼法、竹刀の握り方、構え、体さばき、素振りなどを行いました。



1年音楽の箏（そう）の授業の様子



2年保健体育の剣道の授業の様子

第53回 練馬区立中学校連合ダンス発表会（1月29日）

平成31年1月29日（火）練馬区立練馬文化センター大ホールで、第53回 連合ダンス発表会が開催されました。保健体育科では、ダンスは必修となっています。ダンスは、「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」から選択することになっています。

連合ダンス発表会は、生徒たちが考えた「創作ダンス」を発表するものです。区内32校の発表が行われました。1校は、残念ながらインフルエンザにより学級閉鎖のため、出場できませんでした。学校によっては男子生徒も参加した学校がありました。

関中学校は、校内選考会を経て、1年C組女子が代表として参加しました。自分たちで考えたダンスを精一杯表現しました。テーマは、「地球の誕生」（神々は、まず太陽を。次に大きな水たまりをつくった。そこから様々な命が生まれ、進化は続く・・・）ダンスの中に、ヒトの進化の過程を入れるなど工夫をし、連続的な動きが多くあり、大変に素晴らしいダンスでした。

平成30年度 いじめ防止実践事例発表会 ～ 標語 ～ （1月17日）

平成30年度のいじめ防止実践発表会が、平成31年1月17日、練馬区生涯学習センターで開催されました。

いじめ防止標語についての表彰式もありました。

関中学校では、生徒会を中心にいじめ防止標語を全校生徒で考え、各学年から一つ選び、練馬区教育委員会の送りました。残念ながら、受賞することはできませんでしたが、よい標語だと思います。

中学生の部 最優秀賞 開進第二中学校 3年川原くん 「相談は 逃げではなくて 前進だ」

関中学校生徒会が選んだ標語

- 1年C組 「気づいてる？ 軽い一言 重い傷」
- 2年B組 「今、いじめをやれば 一瞬の恥 やめなければ 一生の恥」
- 3年B組 「その一言で 一生残る罪悪感 一生消えない心の傷」

2月は「ふれあい月間」(いじめ防止月間) ~ 2月4日の全校朝礼での校長講話より ~

2月はふれあい月間です。ふれあい月間は、6月、11月、2月にあります。友達同士のふれあい、先生とのふれあいを大切にしようという意味と、いじめ防止月間という意味があります。

いじめは、友だちを人間扱いしない行為であり、人権侵害の行為であり、かつ、いじめ防止推進法でも禁じられている行為です。

「兄弟姉妹けんか」という言葉がありますが、兄弟姉妹でもトラブルはあります。まして、519人もの生徒が集い関中学校はできていますが、一人一人の価値観は異なり、性格も違います。その中で、トラブルは起きてしまうことがあります。トラブルが全くない学校は、ないでしょう。しかし、そうしたトラブルが、いじめにエスカレートしてはいけません。

さて、ここに「平成30年度 全国中学校人権作文コンテスト 東京都大会入賞作品集」があります。この中で、一つの作文を紹介します。それは、東京都教育委員会特別優秀賞を受賞した「共感の力」(日野市立日野第三中学校 3年田附さん)という作文です。[全校朝礼では全文を読めなかったので、全文を載せません] *特に最後の部分が、大事なことだと先生は、思います。

「そうだよね。その気持ちわかるよ。」

どうしたらいいのかわからなくなったとき、この言葉は心の大きな支えになる。私は悩んでいた、疲れがたまっていたりするとき、誰かに話を聞いてもらいたくなる。親身になって聞いてもらえると、心がすっきりするからだ。あのときもそうだった。

二年間のことだ。学校からの帰り道、私はふと、かつて通っていた小学校の前で足を止めた。

「先生と話したいな。」

不思議とそんな思いが込み上げてきた。その先生とは、小学五・六年生のときの担任の先生で、私の大好きな先生だ。いつも、クラスみんなに寄り添って下さっていた先生は、まるでみんなのお母さんのような存在だった。そんな先生に話を聞いてほしいと、心が私に訴えているようだった。そのとき私は、中学一年生。様々な環境の変化が積み重なり、日に日に疲れがたまっていた。心も体も、限界に近づいていた。

それから少し経って、先生と話ができる機会があった。勉強が難しくなってきた、テストの前は大変なこと、部活をいまいち楽しめていないこと。私は、次々と頭に浮かんでくることを、そのまま口にした。何よりもうれしかったのは、先生が最初から最後まで、うなずきながら聞いて下さったことだ。「うん。うん。」

このたった二文字の繰り返しが、私を落ち着かせてくれているようだった。(私の気持ちをわかってくれる人がいるんだ。)不安が安心へ、安心が自信へと変わっていった。話しているうちに、(なんだ、なことで悩んでいたのか。)と気づかされることもあった。話を熱心に聞いて下さったことが、私の気持ちを暗から明へと、百八十度転換させてくれた。

「紗夕さんの気持ち、よくわかるよ。」「そういうこともあるよね。」

先生がかけて下さった言葉が、とても心強かった。

そのとき、母から聞いたある話を思い出した。その話とは、母が、私の保育園の先生から教えてもらったものだ。落ち込んでいる子どもに、どんな言葉をかけてあげるのがよいかという話だった。ある子が、サッカーの試合で大きなミスをしてしまい、そのせいで、チームが負けてしまった。その子は試合が終わっても、グラウンドのはじめで一人泣いていた。そこまで話して、母は私に問いかけた。

「こんなとき、紗夕だったらその子に何て声をかけてあげる?」

私は「きみだけのせいじゃないよ。よく頑張ったから、大丈夫だよ。」そう言うだろうと答えた。はげましてあげたいと思ったからだ。

すると母は、私が考えもしなかった言葉を言った。

「悔しいね。その気持ち、わかるよ。私も悔しくて涙がでるよ。」

この言葉こそが、「共感」からうまれる大切な言葉だと教えてもらったそうだ。

私は驚いた。共感されてしまうと、悲しみが一層深くなるのではないかと感じたからだ。

しかし、先生と話したことが、母の言っていた言葉について改めて考え直すきっかけとなった。

共感するとは、負の気持ちを共に感じるだけでなく、それを分け合って、安心と落ち着きを与えてくれるものだ。だからこそ、共感してもらえると、言葉にできないほどのうれしさにつながるのである。

共感 それは、相手の心に自分の心を重ね、正面から向き合うこと。相手の気持ちになって考えること。私も心がけていこう、「共感」できる人になるために。

練馬区教育委員会の指導課訪問を受けました。(平成31年1月16日)



練馬区では、区内小中学校全校を対象に、指導課訪問があります。練馬区は校数が多いため、3年に1回実施されています。

関中学校は、今年度が指導課訪問の年となり、平成31年1月16日(水)に受けました。

どのような内容かと言えば、統括指導主事、指導主事が、関中学校の全ての先生の授業観察をします。当日は、1時間目、3時間目、4時間目の授業をみてもらいました。先生方は、事前に指導案を提出しておきます。また、校長より、2時間目に関中学校の教育活動について30分ほど説明をしました。

5時間目に研究授業をしました。今回関中学校では、来年度より道徳が、「特別の教科 道徳」となるため、佐野先生が2年C組の生徒に、道徳の授業を視聴覚室で行いました。写真は、その時の様子です。佐野先生の授業を、教育指導課長、統括指導主事、指導主事、そして関中学校の先生が参観しました。その後に研究協議会を開き、特に「特別の教科 道徳」の評価について、実践的な研修を行いました。最後に、指導課より指導助言を受け、終了しました。準備は大変でしたが、意義ある研修会でした。

研究授業 「特別の教科 道徳」

授業を受けた組 2年C組

授業者 佐野主任教諭(道徳教育推進教師)

主題 困難に立ち向かう強い意志

ねらい 希望をもって困難を克服し、あきらめずに理想を追求しようと努力する態度を育てる。

教材名 「幾多の困難を乗り越えて」(練馬区道徳映像材集)

教材の内容

盲導犬の父と呼ばれる塩屋賢一氏は、視覚障がい者の自立支援に力を注ぎ、自身の愛犬を日本で初めて盲導犬として訓練をし、そのノウハウを生かして、1957年に国産盲導犬第1号を社会に送り出した。アイメイト協会を立ち上げ、1300組を超えるペアを送り出した。

しかし、その課程では、訓練法が分からず困ってしまったり、ある時は意見の対立から従業員が出ていってしまうなど、幾多の困難があった。しかし、塩屋賢一氏は、その幾多の困難を乗り越えて、自分が目指す理想を追求した。その様子を映像化したものです。

このアイメイト協会は、練馬区関町北5丁目にあります。関中学校は、練馬区関町北4丁目にあり、すぐ近くで、アイメイトが訓練をしている様子をよく見ます。また、今回の映像の中にも関中学校近隣の場所が写っており、生徒にとっても身近な教材です。

授業の様子

生徒に映像を見てもらい、佐野先生より生徒に、「あきらめずに理想を追求し続けた塩屋さんの原動力となったものは何だったのだろうか?」と問い、個人や班で考えさせ、発表してもらいました。最後に、佐野先生より生徒に、「今日の授業を振り返り、あなたはこれからどのような困難を克服していこうと思いますか?」と投げかけて、生徒一人一人は、ワークシートに記入しました。そして、授業は終わりました。(ワークシートは回収)

平成30年度 ねりま小中一貫教育フォーラム(2月1日)

石神井台小学校・関町北小学校・関中学校の3校は、今年度は、実践校3年目として、小中一貫教育フォーラムでは、「紙上発表」と「ポスターセッション」に参加しました。

石神井台小学校・関町北小学校委・関中学校グループの研究主題は「なめらかなつながりを図るための小中一貫教育の工夫」として、2つの分科会をつくり研究をしています。

教科分科会(国語、算数・数学、外国語活動・英語、道徳)・・・

小学校と中学校の学習指導上の課題や指導法を情報交換し、課題解決カリキュラムを作成し実践する。

交流分科会・・・小学校と中学校の様々な交流を図る。

ポスターセッションは、ココネリ(Coconeriホール)を会場に33中学校区と大泉桜学園の34のポスターが展示されました。今回は、石神井台小学校が、ポスターを担当し作成しました。

各ポスターには、説明者がついて、様々な質問に答えます。また7つの実践校グループと小中一貫教育校大泉桜学園から、口頭発表(映像スライド含む)が練馬区立文化センターでありました。

2月1日のねりま小中一貫教育フォーラムでの関中グループのポスターは、これです。